

新たな門出、成人おめでとう！

1/9

「平成18年南区成人式」が区内のホテルを会場に開催されました。南区で今年成人を迎えたのは2,129人。会場には晴れ着やスーツに身を包んだ新成人1,190人が集い、多くの祝福を受け、二十歳の誓いを新たにしました。



◀お茶会コーナーで一服



▲好評の占いコーナー



▶新成人を代表し「誓いの言葉」



▲久しぶりの仲間と記念撮影



▶模擬選挙で投票体験

雪を忘れて、元気に遊ぼう

1/12

藻岩小学校の体育館で行われた、親子のふれあい交流「冬だ！みなみくんまつり」。ストラクアウトやボウリング、ミニ変身コーナーなど、楽しい遊びが繰り広げられ、子どもたちは元気いっぱい体育館の中を駆け回りました。



▲みんなでアンパンマン体操



▲お姫さまに変身！

▲ピエロのマジックバルーンは大人気



白川浄水場では、豊平川から取り入れた水（原水）の濁りを凝集・沈殿・ろ過し、塩素消毒を行い、おいしい水道水へと浄水処理をしています。同浄水場で一日に作ら

管理棟と沈砂池（川の水に混じった砂を沈める池）

全国的にも「おいしい」と言われる札幌市の水道水。その歩みは、昭和十二年の藻岩浄水場の通水に始まります。その後の高度経済成長期、周辺市町村との合併もあり、札幌市の人口は急増し、給水区域も拡大しました。市民生活に欠かせない水道水を将来にわたって確保するため、新しい水源の開発が必要となり、昭和四十六年、豊平川上流に札幌市の水がめとして豊平峡ダムが完成。同年、白川浄水場が通水しました。その後も増え続ける人口に対応するため、平成元年、豊平川水系の小樽内川に第二の水がめとして定山溪ダムが完成し、白川浄水場の水源に加わりました。

見る・知る・遊ぶ ふるさと①9

白川浄水場

全国的にも「おいしい」と言われる札幌市の水道水。その歩みは、昭和十二年の藻岩浄水場の通水に始まります。その後の高度経済成長期、周辺市町村との合併もあり、札幌市の人口は急増し、給水区域も拡大しました。市民生活に欠かせない水道水を将来にわたって確保するため、新しい水源の開発が必要となり、昭和四十六年、豊平川上流に札幌市の水がめとして豊平峡ダムが完成。同年、白川浄水場が通水しました。その後も増え続ける人口に対応するため、平成元年、豊平川水系の小樽内川に第二の水がめとして定山溪ダムが完成し、白川浄水場の水源に加わりました。

れる水道水の量は六十五万立方メートル（札幌市役所本庁舎約四分）、札幌市内に届けられる水道水の約八割を供給しています。

同浄水場は、国内で初めてダイレクト・デジタル・コントロール方式（場内の各施設をコンピューターで集中管理するシステム）を採用し、効率的に場内を管理しています。

なお、同浄水場は、事前申し込みにより場内を見学することができま。また、札幌市の水道事業七十周年にあたる平成十九年には、札幌市水道記念館（中央区伏見四丁目六番、藻岩浄水場内。現在休館中）が体験型の新しい施設としてリニューアルオープン



所在地：白川一八四番地
見学時間：五月から十月までの月曜日から金曜日（祝日を除く）、午前八時四十五分から午後五時十五分

21 詳細白川浄水場 ☎(596) 24



場内を集中管理する中央管理室▶

